



# 沖縄観光と カジノ・エンターテイメント



平成23年3月

沖縄県

(平成22年度カジノ・エンターテイメント検討事業調査報告書 概要版)

# 沖縄統合リゾートモデルの再構築

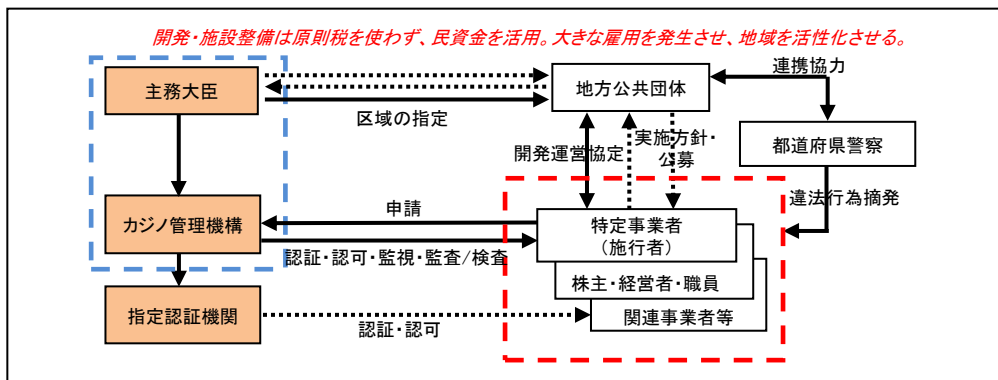
沖縄県では、平成19年度より平成20年度までの間、カジノ・エンターテインメント検討委員会を設置し、本県へカジノ・エンターテインメント施設を導入する場合の課題、対応策等について検討を重ね、県民がカジノ・エンターテインメントについてイメージしやすいように、沖縄型カジノ・エンターテインメントモデル、コンセプト及び経済効果の試算や懸念事項に対する沖縄県の基本的な考え方などについて整理してきたところである。

委員会での検討から1年以上が経過しており、その間の沖縄観光を取り巻く環境の変化やカジノ・エンターテインメントを巡る最近の動向を踏まえ、沖縄統合リゾートモデル等について改めて整理し、広く正しく県民に周知するとともに、今後の沖縄観光を考えるための県民議論をさらに促す必要があることから、沖縄統合リゾートモデル等の再構築を行った。

## 国におけるカジノ合法化の動向

民主党をはじめ自民党、国民新党、公明党、みんなの党の超党派議員で構成される「国際観光産業振興議員連盟」(IR議連、平成22年4月14日設立)において、カジノを合法化する法律制定に向けて、準備が進められている。なお、平成22年8月に、IR議連の会長私案が示されたところである。

### カジノ管理体制図



### 国と地方公共団体、民間事業者の関係性などの基本的な考え

- 1. 国** ⇒ カジノ運営・経営等を監視・検査、厳格な規制
  - ： 地域指定に関する基本方針を閣議決定
  - 地方公共団体(その一部事務組合を含む。)による申請・提案を募集し、審査・評価、特定複合観光施設区域を指定
  - ※要件、選定の判断基準と手法は法定
- 2. 地方公共団体** ⇒ 投資を誘致する主体:実施に関する基本方針の大枠
  - ： 指定を受けた後、区域実現のための実施方針を定め、競争公募により特定複合観光施設整備計画案を募集、施設の企画、開発、投融資、整備・運営を担う特定事業者(民間)を選定
  - 開発と運営に関する詳細条件を特定事業者と取り決め
  - ※今後の検討課題:主体を都道府県とするのか市町村とするのか
- 3. 特定事業者(民間)** ⇒ 法律上の施行者
  - ： 国の規制機関にカジノ運営に関する許可申請を行い、その適格性が認証された場合、一定の条件の下で、特定複合観光施設区域内でカジノ施行
  - ※開発・施設整備に税金を使わず、民間資金を活用
  - [その他の適格性認証の対象]
  - 特定事業者の主要株主、経営者、従業員
  - 機械・機材・器具・システム等を納入する事業者等
- 4. カジノ管理機構** ⇒ 国の規制機関(内閣府の外局)
  - ： 規則制定、認証・認可、監視等

# 沖縄統合リゾートモデルの検証

- 沖縄の魅力・ポテンシャル**→①沖縄の美しい海を代表とする豊かな自然、②亜熱帯の温暖な気候風土、③多様な文化遺産、④沖縄の伝統芸能・沖縄社会と自然との調和、⑤健康・長寿・ゆったりとしたライフスタイル
- 必要な要素**→①空港機能及び国際航空路線網の充実、VIP客専用サービスの充実、熟練スタッフの雇用、②多言語能力のある人材育成、③観光関連支援・施策の充実
- 解決すべき課題等**→①人口・国内産業が集中する大都市との競合、②沖縄の魅力を活かした国際観光の充実

## ◆利用者数の検証

- ・将来的に観光客1,000万人を目指しながら、沖縄統合リゾートモデルの再構築にあたっては、これまでの傾向を踏襲した、より基本的な予測に基づいて検討
- ・国際観光客や受け入れインフラ整備等、総合的な観点から利用者の予測が必要

## ◆コンセプトの検証

- ・平成20年度の検討では、沖縄統合リゾートモデルは、沖縄観光の魅力を集約し、観光施策を総合的に牽引していくものとしていた。沖縄統合リゾートモデルの再構築にあたっては、法案の目的を踏まえつつ、沖縄統合リゾートを核とした地域社会への責任と貢献を基本的な考え方として示すと共に、アジア地域における沖縄の優位性を考慮し、これらを前面に出したより国際競争力のあるモデルとして検討

## ◆立地形態の検証

- ・沖縄統合リゾートモデルの再構築にあたっては、立地のイメージを形成するため、周辺に既存施設が多く立地する場所で既存施設と連携しながら一体的なリゾートとしていく形態と、郊外に立地し敷地内に多くの機能を備える完結型のリゾート形態との2通りを検討

## ◆導入機能の検証

- ・平成20年度検討モデルにおける導入機能は、沖縄観光の施策を集約し、多様な機能を盛り込んだ。沖縄統合リゾートモデルの再構築にあたっては、平成20年度検討モデルの導入機能を基本としながら、ターゲット層に応じて導入機能を重点化したものとして検討

## ◆カジノ収益の利用

- ・懸念事項への対応、地域社会への還元、環境との共生

## ◆投資規模の検証

- ・平成20年度では、3,200億円と試算
- ・滞在機能(5,000室)の直接工費が約1,393億円と、総事業費の43.0%を占める。
- ・シンガポールでの総開発投資額は沖縄統合リゾートの事業費より大きい、ホテル客室数は少ない。
- ・平成20年度検討モデルの投資規模については、利用者数の予測に基づく必要規模から算出。沖縄統合リゾートモデルの再構築にあたっては、この方法を踏襲し、利用者数の再設定に基づき算出

## 沖縄統合リゾートモデルの再構築

- ・特定複合観光施設区域整備法(IR議連会長私案)などに基づいて、オープン時期を2020年(H32)年頃に設定
- ・観光客推計より平成32年度の観光客数を796万人と推計、観光客来訪率(49.5%)を乗じて得た数を観光客比率(82%)で割り戻し、沖縄統合リゾートへの来場者を490万人と試算

- ・沖縄の海を活かした「遊び」や「癒し」を、季節や天候を問わず提供する国際的海洋性リゾートの創造
- ・国際交流の場として、コンベンション機能の充実や多様なエンターテインメントを導入、ビジネスからファミリーまで多様な顧客層に充実した時間を提供する複合型リゾートの創造
- ・沖縄の気候・風土に根ざし、自然環境や社会・文化に調和したリゾート空間を形成

- ・沖縄の自然環境を基盤とした郊外リゾート型、周辺施設連携型の提案
- ・周辺の環境(市街地、郊外、リゾート地、自然豊かな地域、埋立地や軍用地跡地など)によっても、立地の形態は変動
- ・空港・港湾との近接性や周辺に立地する観光施設、既存の観光地の状況なども立地に大きく係わる。インフラの未整備地域では、アクセス道路やライプラインの整備など莫大な費用を要する場合もある。

- ・集客性→観光客数の増大に対する視点
- ・採算性→観光消費の誘発・経済効果に関する視点
- ・既存施設との関係性→既存の施設や産業との連携や調和に関する視点
- ・近年の動向→各導入機能に関連する最新動向
- ・再構築にあたっての課題→沖縄統合リゾート再構築で見直すべき点等
- ・MICE誘致型モデルは、滞在機能とコンベンション機能を中心に、ビジネスサポートやアフターコンベンション機能を展開
- ・アミューズメント・リゾートモデルは、滞在機能を中心に、非日常的な滞在空間と、多様な活動を展開

- ・国についてはカジノ管理機能の運営、懸念事項・依存問題へ利用
- ・地方公共団体については、地域環境の保全、地域振興等に利用

- ・各導入規模の見直しにより総投資規模は縮小
- ・滞在機能は、周辺施設連携型では既存施設と併せて5,000室に設定
- ・郊外リゾート型も2,000室~2,600室に縮小

# 沖縄統合リゾートモデルの再構築にあたっての基本的な考え方

社会経済情勢の変化、IR議連におけるカジノを合法化する法律案の検討状況、最新のリゾート施設の整備等の動向を踏まえ、沖縄統合リゾートモデルの再構築にあたっての基本的な考え方について整理をした。特に、カジノ収益については、ギャンブル依存症対策などの懸念事項への対応をはじめ、地域社会への還元、環境との共生にかかる機能・事業に要する経費に充当することを基本的な方向性として整理した。

## 再構築にあたっての基本的な考え方

沖縄統合リゾートを核とした地域社会への責任と貢献

- 国や県の新たな将来ビジョンの実現に資する
- 懸念事項、環境問題等に対する機能・事業を導入
- 環境共生型社会の形成

## カジノ収益の利用

### 懸念事項への対応

- ・ギャンブル依存症対策、セーフティーネット構築

### 地域社会への還元

- ・国際観光の振興、社会福祉関係、教育関係など

### 環境との共生

- ・自然環境保全・再生技術の普及、低炭素社会の実現に向けた技術普及促進

## 《沖縄統合リゾートモデルの再構築》

沖縄統合リゾートを形成する魅力・ポテンシャルを最大限に引き出すため、主なターゲット層を明確に設定したモデルを想定、さらに立地形態を考慮した複数の沖縄統合リゾートモデルとして再構築した。

## 沖縄統合リゾートモデルの特徴

ターゲットによる  
バリエーション

### MICE誘致型 (ビジネス層中心)

- 国際会議や研修・商談等の誘致  
Meeting、Convention
- 30代～40代のビジネスマン
- 洗練された空間



郊外リゾート型

周辺施設  
連携型

### アミューズメント・リゾート (ファミリー層中心)

- 報奨旅行、保養・休養・療養  
Incentive、Event
- ファミリー、ヤングアダルト、リタイアメント
- 非日常的な空間



郊外リゾート型

周辺施設  
連携型

立地による  
バリエーション

## 沖縄統合リゾートの建設及び運営効果

- ・沖縄経済に与える影響は、生産誘発効果と雇用誘発効果の双方で、大きな効果が期待できる。誘発される経済効果が最大となるのは、アミューズメント・リゾートモデルの郊外リゾート型であり、1次波及と2次波及の合計で約2,190億円、約54,000人の雇用誘発がみられる。また、最小の規模ではMICE誘致型の周辺施設連携型であり、1次波及と2次波及の合計で約1,273億円、約31,000人の雇用誘発となる。
- ・運営開始後の雇用誘発は、カジノを含む統合リゾートの建設による雇用誘発効果で約26,000人から約15,000人、カジノの営業開始後の雇用誘発効果は約28,000人から約15,000人と、それぞれ高い雇用誘発が見込める。

**MICE:** 企業等の会議(Meeting)、企業等の報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、イベント、展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

# 懸念事項に対する基本的な考え方

## 1. ギャンブル依存症対策

- ・カジノ収益を用いた依存症回復支援施設、治療施設への支援
- ・ギャンブル依存症相談員育成への支援
- ・本人や家族の申し立てに基づくカジノ施設からの依存患者自己排除プログラムの実施
- ・域内におけるATM設置や金銭貸付の禁止
- ・最低最高掛け金規制の採用
- ・ギャンブル依存患者の特定化、対処のためのカジノの従業員教育

### ○ギャンブル依存の問題に対処する支援

(Problem Gambling Services)構築の検討

- ・諸外国で実施している、予防、社会的貢献活動、治療の3段階の取組みを参考に沖縄の独自性、地域特性等を考慮した基本的な考え方を検討
- ・カジノ企業の社会的責任(CSR)を含み、ギャンブル問題に対する社会の批判やギャンブル依存者からの損害賠償請求訴訟を回避するためのリスクマネジメントの考え方を整理

## 2. 青少年への影響への対策

- ・青少年のカジノ場への立入、入場、ゲームへの参加規制
- ・青少年を見極めるための厳格な本人確認等のチェック
- ・カジノ場に関する広告の規制
- ・高校生、大学生への予防教育活動

## 3. 暴力団等組織悪介入への対策、犯罪防止策

- ・カジノ場内外における警備、監視の徹底
- ・カジノ運営において、暴力団や犯罪歴がある等、適切でない法人や個人を排除
- ・カジノ運営希望者は国の認証を取得することを要件とし、国の認証取得者についても事後違法行為等があれば認証を剥奪
- ・国や警察との連携・協力・調整体制の構築、不正排除、暴力団等の介入阻止
- ・監視カメラによるゲーム進行の常時監視、映像記録の一定期間保持の義務づけ
- ・カジノが安心・安全な大人の健全な娯楽である旨を啓蒙(暴力団等を排除)

## 4. 地域環境への影響への対策

- ・警察、教育、保健衛生、金融等の組織で構成する地域環境管理委員会の設置

## 5. 対策費用の義務づけ

- ・収益金、入場料の用途に関し、セーフティー・ネット構築や公共安全のための一定支出の義務づけ

## ● カジノ場への県民の入場規制について

- ・平成20年度カジノ・エンターテインメント検討委員会において、カジノ・エンターテインメントの導入について、県民の理解を得るためにもカジノ場への県民の入場については、規制すべきである旨の意見



## 国・地方公共団体・特定事業者の役割

### ○国の役割

- ・国による包括的なギャンブル依存症患者対応施策の実施
- ・カジノ施行に関する民間主体の厳格な参入規制と適格性認証
- ・カジノ施行に関する民間主体の行為等に関する厳格な規制の導入
- ・特定事業者への対応義務 ※入場に際する本人確認義務の賦課(未成年者の完璧な排除)
- ・依存症賦課金の徴収

### ○地方公共団体の役割

- ・地域の特性に応じた仕組みづくり
- ・地域社会の合意形成、地域住民の不安を払拭する施策
- ・地域独自規制等が可能となる制度が必要 ※県民のカジノ施設への入場規制・入場料賦課など
- ・規制、監視等については、国と地方自治体の協調が必要

### ○特定事業者の役割

- ・依存症に関する啓発、相談、治療、家族への支援等
- ・地域環境対策のための協議会への加入
- ・自主的な犯罪・不正防止対策の徹底
- ・青少年対策として、教育・啓発活動
- ・社会的なセーフティーネット対策

# 沖縄統合リゾートモデルの導入機能

## コンセプト

わが国で検討されているカジノ・エンターテインメントのスタイルは、複合型エンターテインメント、シンガポール等の形態を例にした「統合リゾート＝IR(インテグレートッド・リゾート)」であり、沖縄県の検討モデルにおいてもこの形態を基本とする。以下、これを「沖縄統合リゾートモデル」と呼ぶこととする。

沖縄型カジノ・エンターテインメント



沖縄統合リゾートモデル

## 沖縄統合リゾートモデルのコンセプト

- 海を活かした「遊び」や「癒し」を、季節や天候を問わず提供する国際的海洋性リゾートを創造する。
- 国際交流の場として、コンベンション機能の充実や多様なエンターテインメントを導入し、ビジネスからファミリーまで、多様な顧客層に、充実した時間を提供する複合型リゾートを創造する。
- 沖縄の気候・風土に根ざし、自然環境や社会・文化に調和したリゾート空間を形成する。

## A 滞在機能

⇒ ホスピタリティあふれる非日常空間の提供

- ・ビジネス客対応の高品質な滞在空間
- ・レンタルオフィス、バーチャルオフィス、OAサービス等のビジネスサポート
- ・ファミリーの滞在
- ・企業の報奨旅行への対応



サンズマカオ

[http://www.sands.com.mo/ac\\_info.asp](http://www.sands.com.mo/ac_info.asp)

## B カジノ機能

⇒ 洗練された大人のナイトライフの充実

- ・カジノはエンターテインメントの一つであるとともに、沖縄統合リゾート全体の財務面をカバーする。大人に洗練された遊びの時間を提供する健全で華麗な「社交場」



シティ・オブ・ドリームズ

<http://allabout.co.jp/gm/gc/18839/>

## C ショッピング機能

⇒ ファミリー向けのリゾートファッションから、ビジネスマン向けの最先端情報通信機器など、顧客のニーズに対応したショッピングモール

- ・ブランドショッピングが観光の新たなメニューとして定着しつつある。沖縄でしか出来ない魅力の創出をめざし、海洋リゾートの魅力を活かしたマリノアトロピカルリゾート・ファッションを沖縄から発信
- ・最先端情報通信機器などのショッピングモール
- ・キャラクターモール、リゾートファッション



リゾートワールドセントーサ

<http://www.yoursingapore.com/>

## D グルメ・バー機能

⇒ 社交・商談・接待、ランチからナイトライフまで多国籍・多彩なグルメ・バー

- ・沖縄型スローフードをはじめ多様なニーズに対応するワールドワイドなバラエーティグルメモールとトロピカルムードのバー
- ・旅行において「食」は最も重要な要素である。地域ならではの食に加え、国際色豊かで多様な飲食機能。また、泡盛や亜熱帯のフルーツなど南国の素材を活かしたカクテルなどトロピカルムードのバーでナイトライフを盛り上げる
- ・商談・接待、社交場としてナイトライフの充実
- ・ランチからナイトライフまで時間帯を問わず、グルメを満足させる多国籍・多彩なグルメモール



ミラージュラスベガス

<http://hotels.about.com/od/lasvegases/ig>

## E コンベンション機能

- ⇒国際会議からイベント・スポーツまで、アジアのビジネス・イベントを誘致する国際交流拠点
- ・アジアの要衝に位置する沖縄の地理的優位性を活かし、コンベンション・アイランドとして国際会議や大規模展示会・国際交流イベントの誘致を促進
    - ボールルーム(大中小フレキシブルな会議・研修、企業の報奨旅行の集会、宴会・展示)
    - イベント・アリーナ(宴会・コンサート・スポーツ)



アリアリゾート&カジノ  
<http://www.arialasvegas.com/>

## F リゾート・ウェディング機能

- ⇒海洋ロケーションを活かした、ロマンチックでメモリアルなウェディングの演出
- ・世界屈指の美しい海と澄み渡る青い空、純白の砂浜などに恵まれたロケーションを活かし、新郎新婦や家族、参列者にも有意義で思い出深い時間を提供



アトランティスパハマ  
<http://www.atlantis.com/>

## G シアター&エンターテイメント機能

- ⇒超一流の劇団やミュージシャンの誘致をはじめ、沖縄芸能のエンターテイメント性の発揮
- ・演劇やパフォーマンス、音楽など世界的に超一流のエンターテイメント集団の誘致と、沖縄の伝統芸能、音楽などを世界に向けて発信
  - ・子供向けアトラクション、ライブ・エンターテイメント、3D・4Dシアター等



リゾートワールドセントーサ  
<http://www.rwsentosa.com/>

## H ヘルシー&ヒーリング機能

- ⇒「長寿と癒しの島」=気候、景観、人情による極上のヘルシー&ヒーリング・リゾート
- ・沖縄の自然や文化、県民のホスピタリティなど、「癒しの島」と呼ばれる優位性を活かし、エステ・スパ、タラソテラピーなど多様なヒーリングサービスを提供。高度先進医療や統合医療等と連携し、長寿研究のエビデンスを付加した健康づくりサービスの提供



アトランティスパハマ  
<http://www.atlantis.com/ accommodations/>

## I アミューズメント機能

- ⇒通年・全天候で沖縄の海を体感できる海洋レジャー&ミュージアム
- ・沖縄の魅力は、やはり海と自然
  - ・海水浴、マリンスポーツ、ビーチ・パーティー、ダイビング、エコツアー、クルージング、釣りなど、通年・全天候で海や自然を楽しめる多様な仕掛け
    - ビーチ&オーシャンドーム
    - マリン・ミュージアム
    - 自然体験機能
    - マリーナ
    - テーマパーク、バーチャルタウン(アニメキャラクター等)



リゾートワールドセントーサ  
<http://aboutsingaporecasino.com/>

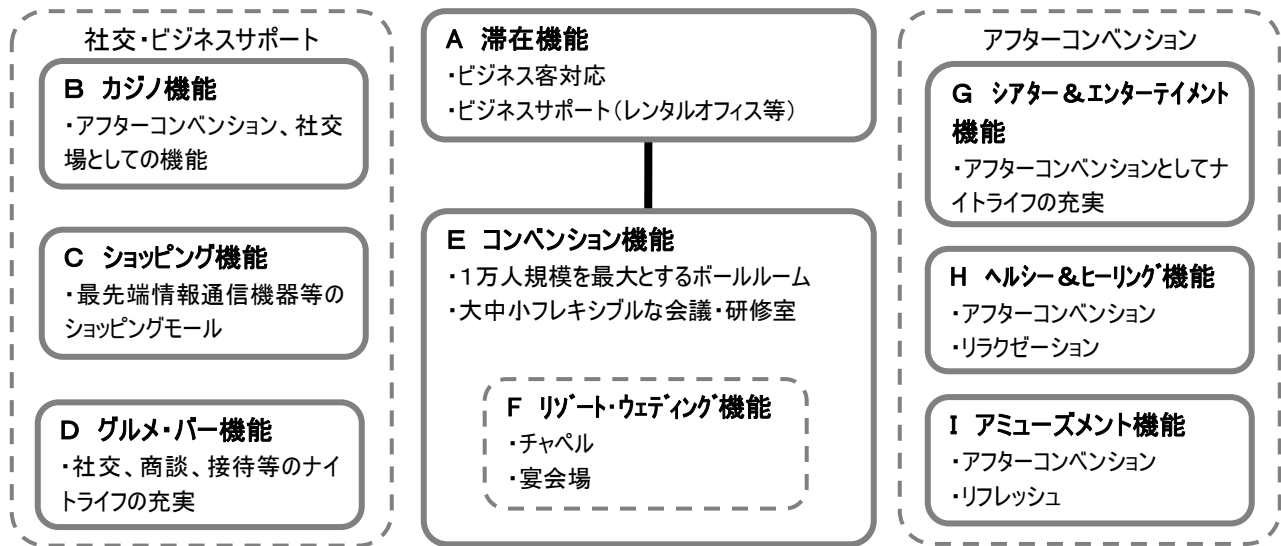
## ● 支援機能

- ⇒沖縄統合リゾートモデルの導入機能を補完し相乗効果につなげる
- ・地域の観光リゾート産業、ひいては産業全体の底上げを図る。
    - 大型クルーズ客船の誘致
    - 懸念事項への対応
      - \* 外国人観光客の誘致促進
      - \* ギャンブル依存症対策
    - リゾート人材育成
      - \* 地域環境管理委員会
      - \* 多言語能力のある人材の育成
      - \* ホスピタリティの醸成
  - ・カジノ収益の利用
    - 懸念事項への対応(ギャンブル依存症対策、セーフティーネット構築)
    - 地域社会への還元(国際観光の振興、社会福祉関係・教育関係など)
    - 環境との共生(自然環境保全・再生技術の普及、低炭素社会の実現に向けた技術普及促進)

# MICE誘致型モデル

## 導入機能の配置イメージ図

滞在機能とコンベンション機能を中心に、ビジネスサポートやアフターコンベンション機能を展開



## 導入機能の考え方

導入機能	機能特化の考え方(例)
A 滞在機能	ビジネス客対応の高質な滞在空間 レンタルオフィス、バーチャルオフィス、OAサービス等のビジネスサポート
B カジノ機能	アフターコンベンション、社交の場
C ショッピング機能	最先端情報通信機器などのショッピングモール
D グルメ・バー機能	商談や社交場としてナイトライフの充実
E コンベンション機能	1万人規模を最大とするホールルーム 大中小フレキシブルな会議・研修室
F リゾート・ウェディング機能	チャペル、披露宴可能な宴会場
G シアター&エンターテイメント機能	ナイトライフの充実
H ヘルシー&ヒーリング機能	スパ、エステ、マッサージなどビジネス客の癒し
I アミューズメント機能	ビジネス客の嗜好に合わせた大人の娯楽

## ○将来ビジョンにおける位置づけ

- ・新成長戦略における『アジア経済交流圏』におけるビジネス交流を推進
- ・沖縄21世紀ビジョンにおける「世界に開かれた交流と共生の島、『21世紀の万国津梁』」の実現に資するものとして、アジアの中での沖縄の優位性を活かした国際交流を推進
- ・沖縄21世紀ビジョン基本計画におけるMICEの推進

## ○沖縄の優位性

- ・那覇を中心に半径2,000km以内にアジア各国の主要都市を含む地理的な優位性
- ・平和・交流、健康・長寿、芸能・文化、自然環境などの世界に向け発信すべきテーマが豊富
- ・優れたロケーション、県民のホスピタリティ
- ・日本の安心・安全、信頼性、治安の良さ

## ○沖縄の課題と解決策

- ・空路が主な移動手段となり、コスト面での課題が大きい
- ・大規模都市圏から遠く、後背人口が少ない。沖縄の優位性を活かし、意義づけやメリットを打ち出す

## ○期待される効果

- ・訪日外国人の増大、経済効果、地域の国際化・活性化に寄与
- ・消費単価が高いとされるMICE客層による、アフターコンベンションにおける経済波及効果
- ・MICE開催により観光関連産業のみならず、展示・宿泊・会議等の多様な産業及び経済全体を活性化
- ・コンベンションを通じた企業CSRツーリズム等の誘致
- ・開催場所としてメディアを通じたPRの期待



# 海外のIR事例



アリアリゾート&カジノ 概観  
<http://jp.hotels.com/>



アリアリゾート&カジノ カジノ  
<http://resocasi.com/>



スターシティ ボールルーム  
[http://www.starcity.com.aulery\\_Functions.htm#](http://www.starcity.com.aulery_Functions.htm#)



マリーナベイサンズシンガポールシアター  
<http://globalmarketing.co.jp/sands/>

シンガポールサンズ  
<http://www.lasvegasadvisor.com/>

## 経済効果の試算

### ○投資効果

・ビジネス層が中心で個人単価が高く、短期滞在をターゲットにしたアフターコンベンションのメニューを提供する。また、カジノ施設との併設で集客性・採算性をより高める効果が期待される。

### ○波及効果

・施設内完結型として、集約性を高め付帯施設との連携による一体的な波及効果を目指すため、周辺への経済効果は比較的低くなる。

#### (郊外リゾート型)

- ・建設費は1,067億円で、H20モデルの33.3%である。滞在機能は2,600室となっている。
- ・カジノ利用率を最も高い60%にしており、カジノ事業の売上は最も高く、480億円となった。
- ・カジノ事業の粗収益に係る賦課金及び税収が最も大きい。
- ・カジノ外事業の売上は711億円。郊外リゾート型は、周辺に既存のサービス業が少ないという想定で、グルメ・バー機能、社交としてのシアター&エンターテインメント機能の利用率を高く設定している。
- ・MICE誘致型は、ビジネスや社交を目的としている想定で、ヘルシー&ヒーリング機能、アミューズメント機能を比較的安く設定した。

(単位:百万円)

	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	1次+2次	波及源泉+1次+2次
建設効果	106,700	44,250	38,175	82,425	189,125
運営効果(カジノ事業)	48,000	18,929	13,557	32,486	80,486
運営効果(カジノ外事業)	71,100	28,038	20,082	48,120	119,220
合計	225,800	91,217	71,814	163,031	388,831

#### (周辺施設連携型)

- ・建設費は971億円で、H20モデルの30.3%で、今回の再構築モデルの中で最も小さい規模となった。滞在機能は1,000室となっている。
- ・カジノ利用率はH20モデルよりも低い40%に設定しており、カジノ事業の売上は320億円となった。
- ・カジノ外事業の売上は452億円と今年度モデルの中で最も低いものとなった。周辺施設連携型は、周辺に既存の施設が多いという想定で、このモデルが施設内の利用率の設定を最も低く抑えている。来訪者数は共通であることから、施設外への波及が最も大きいと考えられる。

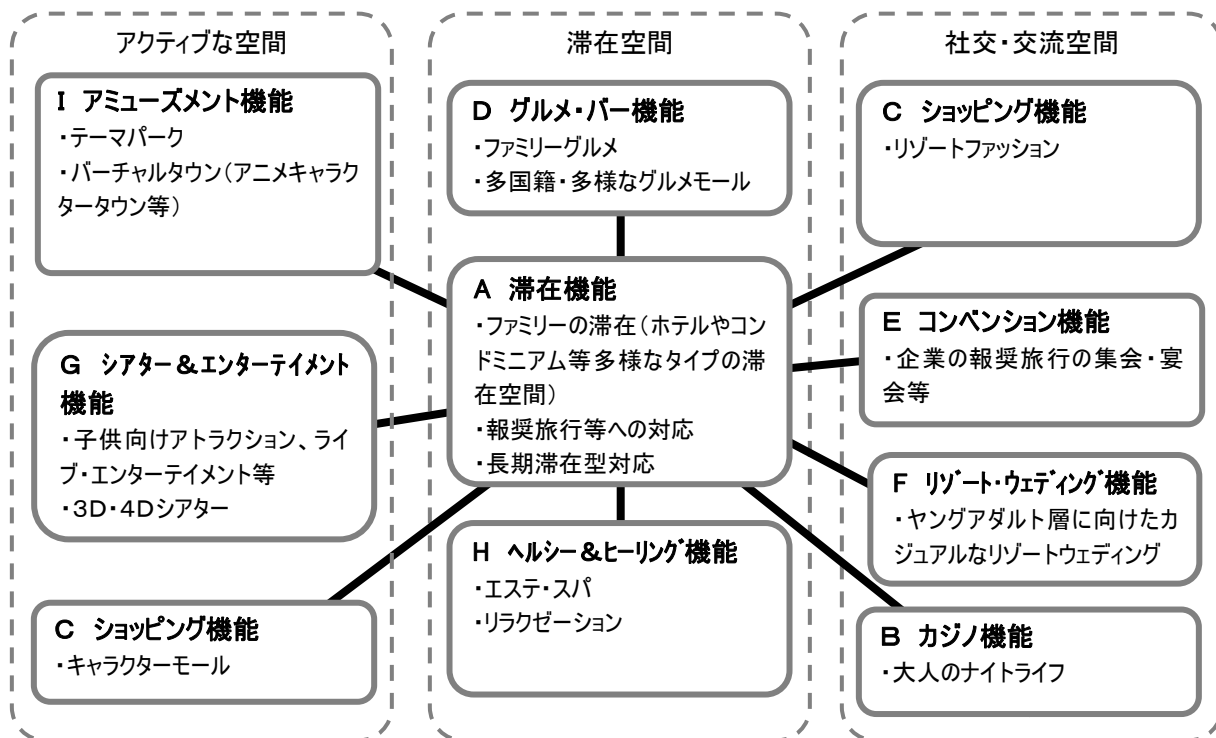
(単位:百万円)

	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	1次+2次	波及源泉+1次+2次
建設効果	97,100	40,269	34,740	75,009	172,109
運営効果(カジノ事業)	32,000	12,619	9,038	21,658	53,658
運営効果(カジノ外事業)	45,200	17,825	12,767	30,591	75,791
合計	174,300	70,712	56,545	127,257	301,557

# アミューズメント・リゾートモデル

## 導入機能の配置イメージ図

滞在機能を中心に、非日常的な滞在空間と、多様な活動を展開する。



## 導入機能の考え方

導入機能	機能特化の考え方
A 滞在機能	ファミリーの滞在、企業の報奨旅行への対応
B カジノ機能	社交・娯楽など滞在期間における大人のナイトライフの充実
C ショッピング機能	キャラクターモール、リゾートファッショ
D グルメ・バー機能	ランチからナイトライフまで、ファミリーグルメ、多国籍・多彩なグルメモール
E コンベンション機能	企業の報奨旅行の集会・宴会等
F リゾート・ウェディング機能	ヤングアダルト層に向けたカジュアルなリゾートウェディング
G シアター&エンターテイメント機能	子供向けアトラクション、ライブ・エンターテイメント、3D・4Dシアター等
H ヘルシー&ヒーリング機能	エステ・スパなどエビデンスの高い保養・休養空間、リラクゼーション
I アミューズメント機能	テーマパーク、バーチャルタウン(アニメキャラクタータウン等)

## ○将来ビジョンにおける位置づけ

- ・新成長戦略における『アジア経済交流圏』における交流推進
- ・沖縄21世紀ビジョンの「世界に開かれた交流と共生の島、『21世紀の万国津梁』の実現
- ・沖縄21世紀ビジョン基本計画における「世界水準の観光リゾート地の形成」

## ○沖縄の優位性

- ・非日常的なリゾート空間、健康・長寿・ゆったりとしたライフスタイル、恵まれたロケーション
- ・自然環境、平和・交流、健康・長寿、歴史・文化、芸能・音楽などの国際的に価値のある多彩な観光資源

## ○沖縄の課題と解決策

- ・台風や不安定な天候に左右されず屋内で楽しめる観光メニューが必要
- ・沖縄の健康志向を向上させた、医療ツーリズムとの効果的な連携を期待
- ・VIP客専用の上質なサービスの提供、海外客をもてなすスタッフの育成
- ・琉球文化を基に世界に一つの沖縄・琉球IRの構築

## ○期待される効果

- ・沖縄の食材・食品をはじめ関連産業を育成、エステ・スパ等の健康関連産業の振興
- ・長期滞在による観光消費の増大
- ・保養・休養型のリゾートとしての価値の向上

# 海外のIR事例



テーマパーク



海の博物館



カジノ



ショッピング施設

リゾートワールドセントーサ

<http://www.askmelah.com/resort-world-sentosa>

## 経済効果の試算

### ○投資効果

・ファミリー層を中心に客層が幅広く、長期滞在に対応した豊富な集約型施設、多様なメニューの提供により一体的な効果が期待される。

### ○波及効果

・長寿の島・沖縄の健康的なライフスタイルを前面にアピールした全県的な取組みにより、総体的な経済効果を高めることが期待される。

#### (郊外リゾート型)

- ・建設費は1,615億円で、H20モデルの50.4%と今回の再構築のモデルの中では最も大きい規模となっている。滞在機能は2,000室で、団体客よりもファミリーやグループ客が多い想定とした。
- ・カジノ利用率はファミリー層を考慮して25%と低くし、カジノ事業の売上は202億円となった。
- ・カジノ事業の粗収益に係る賦課金及び税金は比較的小さくなっている。
- ・カジノ外事業の売上は1,190億円。郊外リゾート型は、周辺に既存のサービス業が少ないという想定で、グルメ・バー機能、社交としてのシアター&エンターテインメント機能の利用率を高く設定している。また、ヘルシー&ヒーリング機能やアミューズメント機能は多様なメニューを設けるものとし、また、滞在期間を5泊としていることから利用機会も多くなり、これを反映してカジノ外の売上は最も高くなっている。H20モデルよりも大きくなり、これが生産誘発効果を押し上げ、最も高い値となった。

(単位: 百万円)

	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	1次+2次	波及源泉+1次+2次
建設効果	161,500	66,976	57,781	124,757	286,257
運営効果(カジノ事業)	20,200	7,966	5,705	13,671	33,871
運営効果(カジノ外事業)	119,000	46,928	33,611	80,539	199,539
合計	300,700	121,869	97,098	218,967	519,667

#### (周辺施設連携型)

- ・建設費は1,061億円で、H20モデルの33.2%となっている。滞在機能は1,000室で、団体客よりもファミリーやグループ客が多い想定であるが、周辺の既存施設の利用が多くなることを考慮した。
- ・カジノ利用率はファミリー層を考慮して25%と低くし、カジノ事業の売上は202億円となった。
- ・カジノ事業の粗収益に係る賦課金及び税金は比較的小さくなっている。
- ・カジノ外事業の売上は775億円。周辺施設連携型は、周辺に既存のサービス業が少ないという想定で、郊外リゾート型よりは利用率が低い設定としている。

(単位: 百万円)

	直接効果	1次波及効果	2次波及効果	1次+2次	波及源泉+1次+2次
建設効果	106,100	44,001	37,960	81,961	188,061
運営効果(カジノ事業)	20,200	7,966	5,705	13,671	33,871
運営効果(カジノ外事業)	77,500	30,562	21,890	52,452	129,952
合計	203,800	82,529	65,555	148,084	351,884



沖縄県 文化観光スポーツ部 観光政策課  
(観光商工部 観光企画課)

※文化、観光およびスポーツに関する施策を総合的に実施するため、平成23年4月からは新たに「文化観光スポーツ部」が設置され、観光企画課は観光政策課となります。

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2

TEL. 098-866-2763 FAX. 098-866-2767

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=233>